

社会福祉法人 五倫会

第2回地域連携推進会議

日時: 令和8年2月14日(土)10:00~12:00



本日のタイムスケジュール

司会進行：村上

時間	内容	担当
10:00	開会・挨拶	灘（統括施設長）
10:05	本日の流れ	村上（法人課長 オリオン管理者）
10:06	会議目的	大澤（姫路暁乃里 サービス管理責任者）
10:08	構成員紹介	
10:25	法人	灘
10:40	チャレンジ	柴田
10:55	姫路暁乃里	大澤・西村（姫路暁乃里 生活支援員）
11:30	質疑応答	
12:00	閉会	村上

地域連携推進会議の目的

(1) 利用者と地域との関係づくり

(2) 地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進

(3) 施設等やサービスの透明性・質の確保

(4) 利用者の権利擁護

第2回 地域連携推進会議

社会福祉法人五倫会

令和 8年 2月14日(土)

社会福祉法人五倫会 法人概要



▶ 指定障害者支援施設 姫路暁乃里

生活介護・施設入所支援
短期入所・日中一時支援



▶ 障害福祉サービス事業所 太陽の郷

生活介護・就労継続支援B型



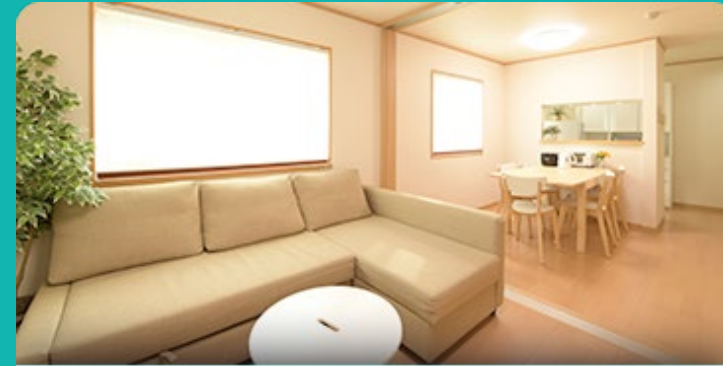
▶ 放課後等デイサービス オリオン

放課後等デイサービス
・オリオン



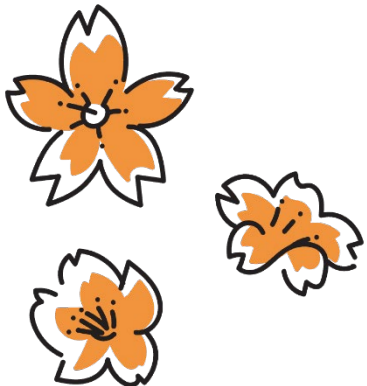
▶ 共同生活援助事業所 チャレンジ

共同生活援助
(介護サービス包括型)



▶ 相談支援事業所 ふらっと

相談支援(一般・特定・障害児)
地域相談窓口(姫路市受託)



本日の目的



五倫会の**現在地**と**今後の方向性**を共有する



地域とともに進めたい**取り組み**を確認する



皆様からの**ご意見・ご助言**を**今後**に活かす

支援

五倫会の 役割

育成と還元

GHと相談

専門性



第1期マスタープランの3つの柱

人材育成と
組織基盤の
強化



地域生活
支援事業の
拡充

サービスの質と
権利擁護の
向上



これまでの進捗と成果

応募者数

前年比

120%

人事給与制度

R8年度より

本格運用予定



ショートステイ

R7年度着工

新棟建設

定員4名→

10名 (R10年度)



現在の課題

重度・高齢障害者支援の
ニーズ増加

支援を担う人材の
育成と継承

緊急・困難ケースへの
対応力強化



10年後の未来像



地域とともに歩む法人として…

専門性と持続性の高いサービスの提供

高齢・重度障害者対応

グループホームの整備

強行行動SVの養成中心

人材育成

姫路暁乃里

個室化・職住分離の完了

専門性の高い

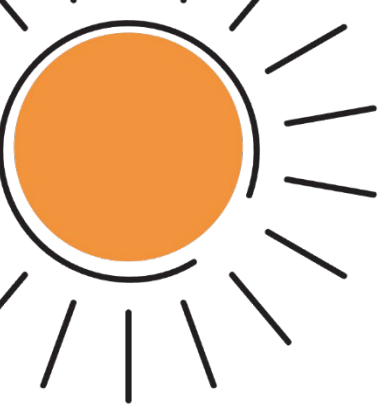
放課後等デイサービス

地域相談窓口の充実

生活介護事業の新設

アールブリュットの

作成・展示拠点の整備



地域・関係機関の皆さまへ



五倫会だけではできない支援があります。
支援が途切れない地域づくりのため、
皆様と意見を交わし、
連携を深めていきたいと考えています。



「ひとりの想い」から始まる福祉の実現を目指す





共同生活援助 チャレンジ

社会福祉法人五倫会
共同生活援助 チャレンジ
サービス管理責任者 柴田 菜穂

目次

地域交流

障害種別について

環境整備

障害福祉サービスの役割

共同生活援助の役割

チャレンジ利用者さんの一日

地域の中で暮らすためには

仮屋自治会だより

発行日:2025年12月27日 発行所:仮屋自治会

お正月とんど 開催お知らせ

お正月恒例のとんど祭りを以下の要領で開催致します。

日時：令和8年1月11日(日)7時30分火入れ

場所：仮屋南公園（お地藏さん公園）



令和7年1月のとんど祭り

事前受付とんどは1月4日に製作しますのでおとんどの中にお入れください。とんどは、お正月に迎えた神様をお送りする意味もあり、家内安全や一年の無事を祈る行事でもあります。ご家庭でお正月にお使いになった門松やしめ縄、そして古い御札、書き初めなどを入れて燃やしますので、お持ち下さい。とんどの準備製作は、仮屋祭典委員、青年会、子供会、自治会役員が協同で製作から準備火入れまで行っております。自治会会員の皆様にお越しいただけるようご案内いたします。

仮屋自治会の仲間たち「共同生活援助 ふあむ的形」さん

仮屋自治会にある共同生活援助「ふあむ的形」さんをご紹介します。ご近所にあります。普段はあまり知る機会がないかもしれせん。「どんな施設なの?」「どんな方が住んでいるの?」といった疑問にお答えし、皆さんに身近に感じていただければ幸いです。

「ふあむ的形」は、障がいのある方々が、スタッフの支援を受けながら地域の中で共同生活を送る「障がい者グループホーム」です。アットホームで家庭的な雰囲気が特徴です。障がいのある方にとって、グループホームは「地域での暮らしの場」です。日中は職場や作業所に通勤・通所し、帰宅後は食事や入浴、掃除、洗濯といった日常生活を、他の入居者と協力しながら営んでいます。世話人と呼ばれるスタッフが、生活全般の相談や必要な援助を行い、入居者の皆さんが自立した生活を営めるようサポートしています。

Q.どんな方が住みますか?

A.主に知的障がいや精神障がいのある方が生活されています。必要な支援を受けつつ、地域社会と関わりながら、自分らしい暮らしをしたいと望まれている方々です。ふあむ的形では、支援を活用しながら地域で生活できる方がお住まいです。

ご近所として「ふあむ的形」の皆さんは、私たちと同じようにこの地域で生活する隣人です。普段の生活の中では、地域住民との交流も大切にされています。もし、お近くで見かけたり、道で会ったりした際は、ぜひ気軽に挨拶を交わしてみてください。お互いが気持ちよく暮らせる、温かい地域づくりにご協力をお願いいたします。



- ◆ 施設名:共同生活援助 ふあむ的形
- ◆ 所在地:姫路市的形町の形 1768-27
- ◆ 運営法人:社会福祉法人五倫会
- ◆ 事業内容:共同生活援助事業 (障がい者グループホーム)
- ◆ お問い合わせ:080-8312-6981

移動スーパー〈おまかせくん〉好評につき継続

12月以降も継続 加瀬土曜日に開店
11月よりお試し期間でしたが、好評につき継続することになりました。皆様のご利用ありがとうございます。仮屋地区内での巡回ルートと場所、時間が若干変わっておりますのでお知らせします。

仮屋自治会の仲間たち「共同生活援助 ふあむ的形」さん

仮屋自治会にある共同生活援助「ふあむ的形」さんをご紹介します。ご近所にあります。普段はあまり知る機会がないかもしれませんが。「どんな施設なの?」「どんな方が住んでいるの?」といった疑問にお答えし、皆さんに身近に感じていただければ幸いです。

「ふあむ的形」は、障がいのある方々が、スタッフの支援を受けながら地域の中で共同生活を送る「障がい者グループホーム」です。アットホームで家庭的な雰囲気が特徴です。障がいのある方にとって、グループホームは「地域での暮らしの場」です。日中は職場や作業所に通勤・通所し、帰宅後は食事や入浴、掃除、洗濯といった日常生活を、他の入居者と協力しながら営んでいます。世話人と呼ばれるスタッフが、生活全般の相談や必要な援助を行い、入居者の皆さんが自立した生活を送れるようサポートしています。

Q.どんな方がお住まいですか?

A.主に知的障がいや精神障がいのある方が生活されています。必要な支援を受けつつ、地域社会と関わりながら、自分らしい暮らしをしたいと望まれている方々です。ふあむ的形では、支援を活用しながら地域で生活できる方がお住まいです。

ご近所として「ふあむ的形」の皆さんは、私たちと同じようにこの地域で生活する隣人です。普段の生活の中では、地域住民との交流も大切にされています。もし、お近くで見かけたり、道で会ったりした際は、ぜひ気軽に挨拶を交わしてみてください。お互いが気持ちよく暮らせる、温かい地域づくりにご協力をお願いいたします。



ふあむ的形



一斉清掃活動に参加

- ◆ 施設名:共同生活援助 ふあむ的形
- ◆ 所在地:姫路市的形町の形 1768-27
- ◆ 運営法人:社会福祉法人五倫会
- ◆ 事業内容:共同生活援助事業 (障がい者グループホーム)
- ◆ お問い合わせ:080-8312-6981

障害の種別

日本の制度では、障害は大きく次のように分類されています

発達障害

自閉スペクトラム症、ADHD(注意欠如・多動症)、学習障害 など

特性の例：予定の変更が苦手、忘れ物が多い、段取りが苦手、人との距離感がつかみにくい など



生まれつきの脳の働き方の違い

本人の努力不足や育て方の問題ではない

知的障害

特性の例：理解する力がゆっくり育つ(難しい言葉や抽象的な説明が理解しにくい、長い説明だと混乱しやすい)、

日常生活にサポートが必要なことがある(お金の管理が難しい、家事や身の回りのことに支援が必要な場合がある) など



理解のスピードや学び方に特性がある。生まれつきの特性で本人の努力不足ではない。

精神障害

統合失調症、うつ病、双極性障害、不安障害 など

特性の例：気持ちのコントロールが難しくなる、考え方や感じ方が偏りやすくなる、生活リズムが乱れやすい など



症状には波があり、体調やストレスの影響を受けやすい。

身体障害

視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、内部障害 など

特性の例：コミュニケーションの工夫が必要、手足の動きが制限される、日常生活に介助が必要 など



内部障害はが外見からわかりにくい。

周囲のちょっとした配慮で生活の質が変わる。

難病、てんかん など

パーキンソン病、潰瘍性大腸炎、ALS(筋萎縮性側索硬化症) など

特性の例：体調の急変、見た目ではわかりにくい困りごとがある など



原因不明で治療方法が確立されていない。

長期の療養が必要。

障害の種別は【困りごとの種類】でもある

- ・発達障害 → 感覚やコミュニケーションの特性
- ・知的障害 → 理解や学びの特性
- ・精神障害 → 気持ちや行動の調整の難しさ
- ・身体障害 → 見え、聞こえ、動きなど身体の困りごと
- ・難病、てんかん → 体調の変化や生活の制限

どの障害も「本人の努力不足」ではなく、「特性や環境の影響」で困りごとが生まれるという視点が大切

環境が変われば誰でも【困る人】になる

例) 海外に行ったとき

- ・ことばが通じない
- ・交通ルールが分からない

例) 新しい職場や学校に入ったとき

- ・暗黙のルールが分からない
- ・人間関係がつかめない

例) 加齢による環境変化

- ・視力、聴力が低下
- ・体力が落ちる

誰でも環境が変われば困りごとが生まれ、できていたことが出来なくなることもある。



環境を整えることで誰もが暮らしやすくなる。

「この環境がこの人にとっていないのかもしれない」という視点で考えることが、誰もが安心して暮らせる社会に繋がる。

どのように環境を整えると良いの？

発達障害

特性の例：予定の変更が苦手、忘れ物が多い、段取りが苦手、人との距離感がつかみにくい など

予定の変更が苦手

☞ スケジュールが見える化し先の見通しが立てられるようにする。予定に変更がある場合は、事前に伝える。理由説明する。選択肢を提示して「自分で選べる感覚」を持てるようにするなど

段取りが苦手

☞ タスクを細かく分け、ステップを分解して提示する。期限は曖昧にせず「〇時」など明確に伝える。一度に複数の指示を出さない。など

人との距離感がつかみにくい

☞ 暗黙の了解に頼らず、言葉で説明する。「これはOK」「これはNG」を明確にする。1対1の方が安心する人には、集団より個別対応にする。役割をはっきりとさせる。など

先に知らせる、見える化する、小分けにする、明確にする、刺激を減らすことで安心感が大きく変わる。

知的障害

特性の例：理解する力がゆっくり育つ(難しい言葉や抽象的な説明が理解しにくい、長い説明だと混乱しやすい)、日常生活にサポートが必要なことがある(お金の管理が難しい、家事や身の回りのことに支援が必要な場合がある) など

理解する力がゆっくり育つ

☞ 抽象的な言葉を避け、情報を少なくするなどわかりやすい情報提供をする。写真やイラストなどの視覚的なサポートや同じ説明を繰り返してもOKな環境づくり。など

日常生活にサポートが必要なことがある

☞ お金の管理にサポートが必要な場合、金額ごとに封筒に分ける。買い物リストを作る。など 家事のサポートが必要なら、写真付きの手順書や片付けやすいシンプルな収納を準備する。など 身の回りのことにサポートが必要な場合は、服を曜日ごとにセットしておく。洗面や入浴手順が見える化する。など

情報をわかりやすく、手順を細かく、生活が見える形にすることで安心して生活しやすくなる。

どのように環境を整えると良いの？

精神障害

特性の例：気持ちのコントロールが難しくなる、考え方や感じ方が偏りやすくなる、生活リズムが乱れやすい など

気持ちのコントロールが難しくなる

☞ 静かな場所や一人になれるスペースなど落ち着ける空間をつくる。「つらくなったらここへ行く」「この人に声をかける」など感情が揺れた時の避難ルートを決めておく。短く、ゆっくり穏やかに話をする。否定しない、責めない、急かさないコミュニケーションをとる。

考え方や感じ方が偏りやすくなる

☞ 曖昧な表現を避け、情報を整理して伝える。冗談や皮肉は避け、誤解が発生しにくいコミュニケーションをとる。SNSの情報制限や人間関係のストレスを減らすなど不安を増やす刺激を減らす。

生活リズムが乱れやすい

☞ 起床、食事、就寝の時間を決めることで生活の型をつくり、朝の準備の簡素化や食事は簡単に作れるものを準備するなど無理のない生活動線をつくる、予定を詰め込みすぎず疲れたら早めに休める環境をつくることで過負荷を避ける。

安心して相談できる人や場所、見通しのある生活や刺激を減らしたシンプルな環境が安心できる。

身体障害

特性の例：コミュニケーションの工夫が必要、手足の動きが制限される、日常生活に介助が必要 など

コミュニケーションの工夫が必要

☞ 筆談やタブレット、音声入力などわかりやすいコミュニケーション手段を用意する。ジェスチャーや視線など本人の得意な表現方法を理解する。

手足の動きが制限される

☞ 段差をなくす、手すりを設置するなどバリアフリーな住環境を整える。電動車椅子や入浴チェア、自助具などの補助具や福祉用具を活用する。

日常生活に介助が必要

☞ どこまで自分で行き、どこからを介助するかを共有し役割分担を明確にする。プライバシーを守る工夫や安全に生活できる仕組みを取り入れる。

バリアフリーやコミュニケーションの工夫、選択肢と自己決定を整えることで、に物理的な安全や情報の安心、尊厳や自尊心の維持に繋がり「自分らしく」「安心して」暮らしやすくなる。

どのように環境を整えると良いの？

難病、てんかん

特性の例：体調の急変、見た目ではわかりにくい困りごとがある

体調の急変

☞ 緊急時対応方法の共有、緊急連絡手段を確保する。急変が起きても安全な空間を整える。事前に緊急時の対応を共有し、本人が望む対応を尊重する。

見た目ではわかりにくい困りごと

☞ 本人の同意の範囲で困りごとを周囲に共有。無理をしなくても良い雰囲気づくり。誤解を減らすためのコミュニケーション。外出、社会参加を安心して行える環境。

急変に備えた安全性や見えない困りごとへの理解。外出や社会参加のサポートを整えることで、「自分らしく」生活しやすくなる。



障害福祉サービスの役割とは

障害のある人が自分らしく、安心して、地域で暮らし続けられるように支えること

その中身は幅広く、生活・仕事・健康・人間関係など、人生のあらゆる場面を支える仕組みとなっている

- 1, 安心して生活できる環境をつくる → 「一人では難しい部分」を補い、地域で暮らし続けられるようにサポートする
- 2, 自立と自己決定を支える → 「やってあげる」ではなく、本人の力を活かす支援が基本
- 3, 特性に合わせた支援で生活の困りごとを減らす → 特性に応じた環境整備を行う
- 4, 社会参加を支える → 「働く」「学ぶ」「楽しむ」など、社会の一員として生きることを支える
- 5, 健康と安全をサポートする → 日常の見守りから緊急時の対応までを担う
- 6, 家族の負担を軽減する → 家族だけに負担が集中しないよう様々な人が関わる

共同生活援助(グループホーム)の役割

障害のある人が地域で安心して、自分らしく生活できるように、住まいと生活全般を支える役割

- ・生活全般のサポート
- ・自立と自己決定を大切にする
- ・特性に合わせた支援を行う
- ・社会参加を支える
- ・安心、安全を守る

など

チャレンジ利用者さんの1日

整容



朝食



チャレンジ利用者さんの1日

健康管理



清掃



チャレンジ利用者さんの1日

金銭管理



洗濯

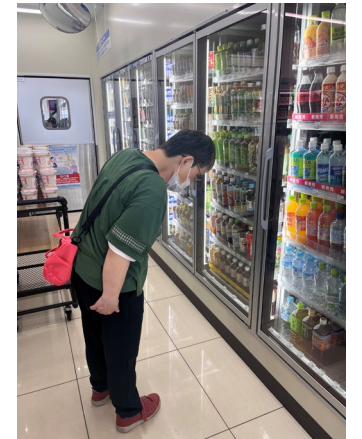


チャレンジ利用者さんの1日

夕食



その他



グループホームの利用者さんが地域の中で暮らすためには、地域住民の方の理解と協力が大きな支えとなります

・温かい見守り

特別なことをしなくても「地域の一員」として普通に接することが大きな安心につながります。

・地域の一員として受け入れる姿勢

偏見や誤解を持たず接してください。気になることは遠慮せずに施設に相談していただくと嬉しいです。

・地域のルールを共有し合う

ゴミ出しや町内会の行事など、地域のルールを教えていただくと利用者さんも生活がしやすくなります。

・安全面での協力

もし、外で困っている利用者さんを見かけたときは、軽く声をかけていただき施設へ連絡していただくと助かります。

指定障害者支援施設 姫路暁乃里

社会福祉法人五倫会
指定障害者支援施設 姫路暁乃里
サービス管理責任者 大澤 洋平



姫路暁乃里



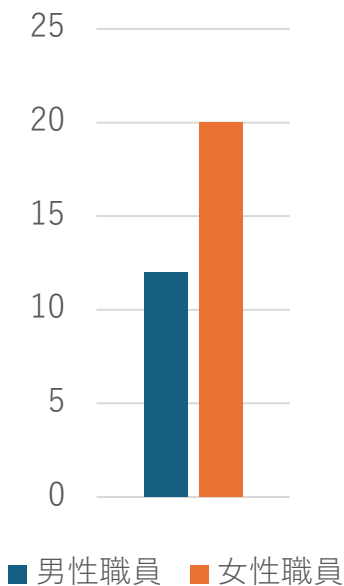
サービス種別

施設入所支援	定員 30名
生活介護	定員 40名
短期入所（ショートステイ）	定員 4名
日中短期入所	定員 4名

サービス	開所日	サービス提供時間
施設入所支援	365日	16:00～9:00
生活介護	月～8日	9:00～16:00
短期入所	365日	要相談
日中短期入所	※現在、法人内の通所（生活介護）の方のみ受け入れ可	

職員数

施設長	事務員	サービス管理責任者	主任	副主任	支援員	理学療法士	看護師	その他
1	5	1	1	1	26	1	4	1



『共に考え、共に実践し、共に達成する』

～利用者・スタッフ・地域と共に～

利用者一人ひとりが思い描く“夢・理想・未来”の実現に向けて、利用者スタッフの信頼関係のもと、利用者に関わる全ての関係機関、全ての人々を巻き込みながら地域社会が一体となって“共に考え、共に実践し、共に達成する”支援体制の実現を目指します。

日課		
平日	時間	休日
起床 整容	6:30	起床 整容
朝食準備	7:45	朝食準備
朝食 歯磨き 掃除・洗濯	8:00～9:15	朝食 歯磨き 掃除・洗濯
作業・活動 (火曜日) シーツ交換、居室整理 (木曜日) 缶回収 (金曜日) 音楽療法10:30(第1・3) 太鼓教室10:00(第2)	10:00～11:30	余暇 (外出・買い物・ レクリエーション など) (土曜日) 太鼓教室10:00(第4)
昼食 休憩	12:00～13:00	昼食 休憩
バイタル測定 (月曜日) まほろばパン購入 (火曜日) 体操教室14:00(第2・3) 男性:余暇 女性:入浴	13:15～14:30	バイタル測定 男性:余暇 女性:入浴
ティータイム	14:30～15:00	ティータイム
男性:入浴 女性:余暇	15:00～16:30	男性:入浴 女性:余暇
夕食 歯磨き	18:00～19:00	夕食 歯磨き
投薬、就寝準備、自由時間	20:00～21:00	投薬、就寝準備、自由時間
就寝・消灯	22:00	就寝・消灯



社会資源・地域資源とは

社会資源・地域資源とは？

その人のニーズを満たすために動員される施設や設備、資金や物資、
集団や個人の有する知識や技能の総称

フォーマルサービス

行政

医療法人・**社会福祉法人**

企業、非営利活動法人



内的資源

インフォーマルサポート

家族、親戚

近隣住民、知人・友人

ボランティア、民生委員

地域のつながり

資源としての役割

地域生活支援拠点としての セーフティネット機能



資源としての役割

地域生活支援拠点等の整備手法（イメージ） 多機能拠点整備型



資源としての役割

緊急短期入所 受け入れ件数

年度	姫路市	姫路市外
令和4年	3件（17日）	2件（12日）
令和5年	6件（46日）	1件（13日）
令和6年	4件（35日）	
令和7年	2件（4日）	1件（7日） 県外より
令和8年	1件（12日）	

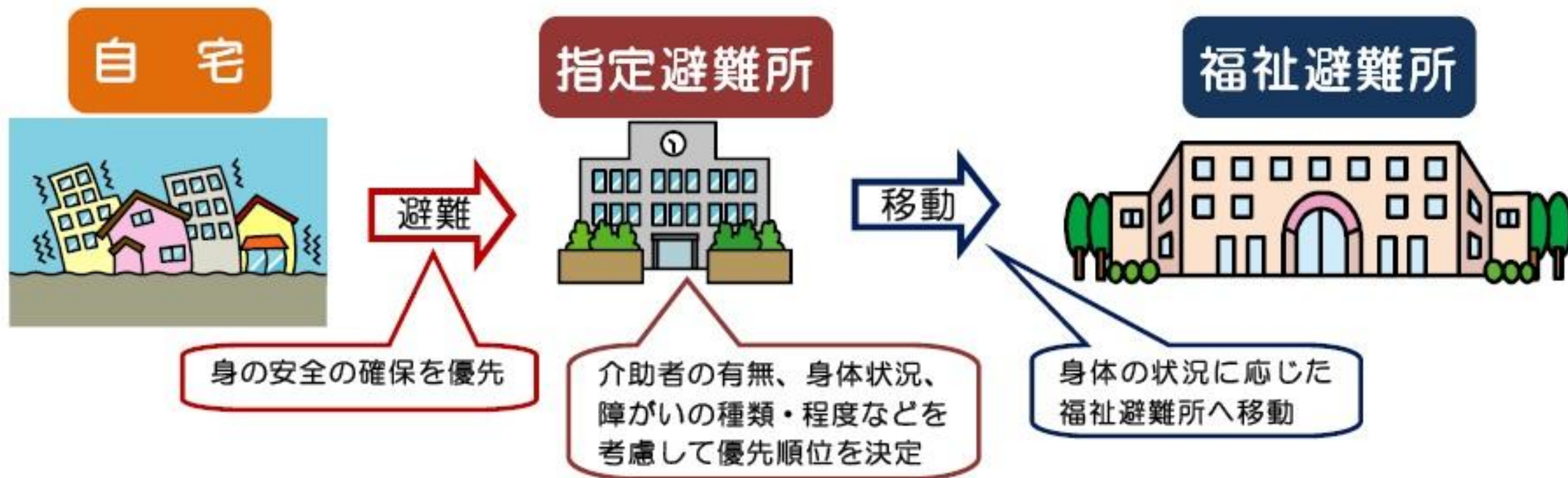
資源としての役割

広域的支援人材



資源としての役割

福祉避難所としての 災害時受け入れ機能



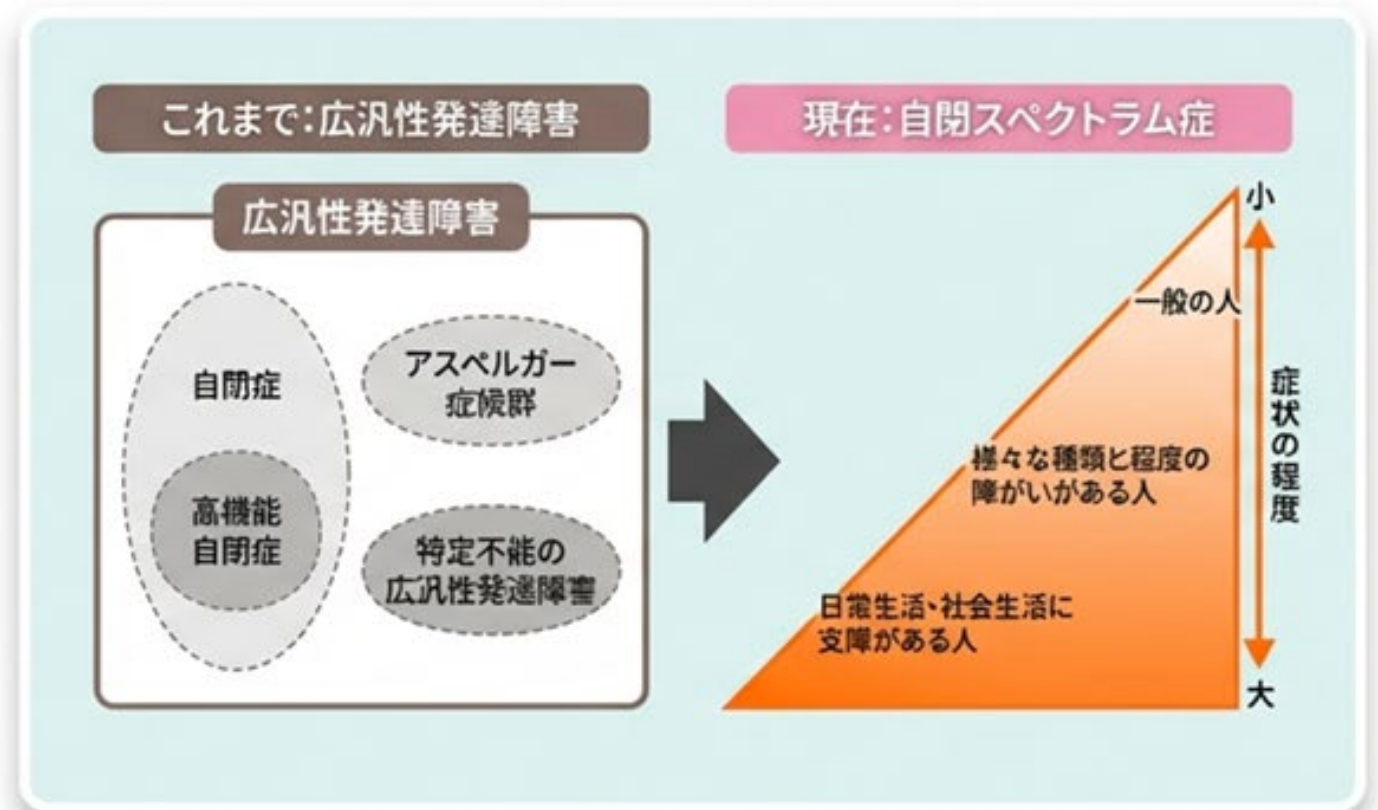
ご清聴ありがとうございました

「見通し」を大切にした支援の取り組み

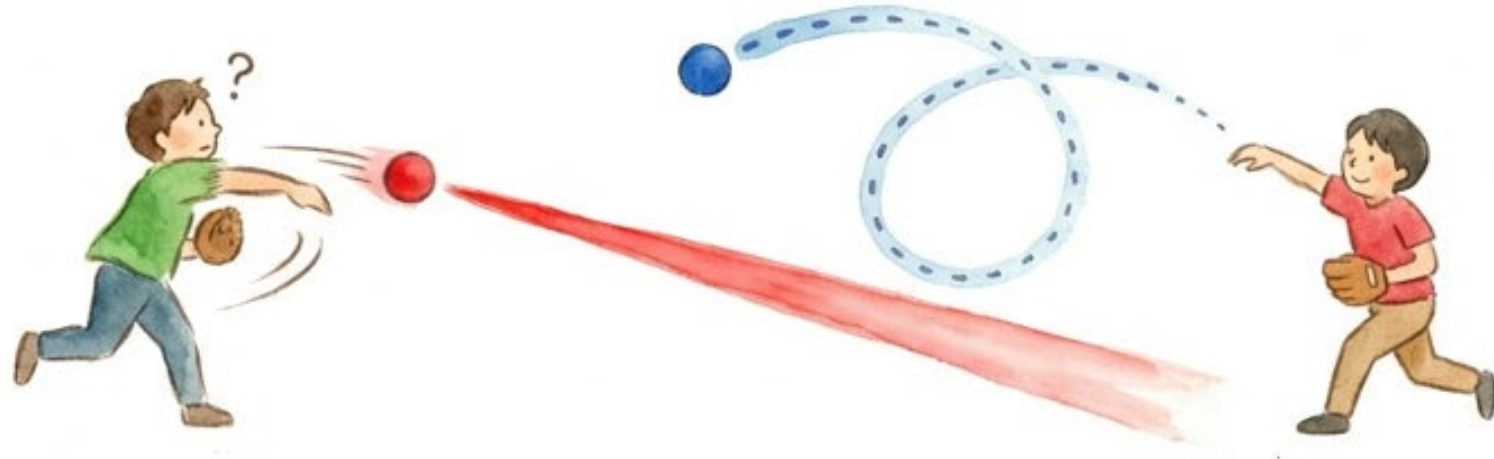
障害者入所施設での支援の一例：I・Sさんの事例

ASD（自閉スペクトラム症）とは

- 生まれつき脳機能の発達に違いがある特性
- 人口の約100人に1人
- 男性は女性の約4倍の発生頻度

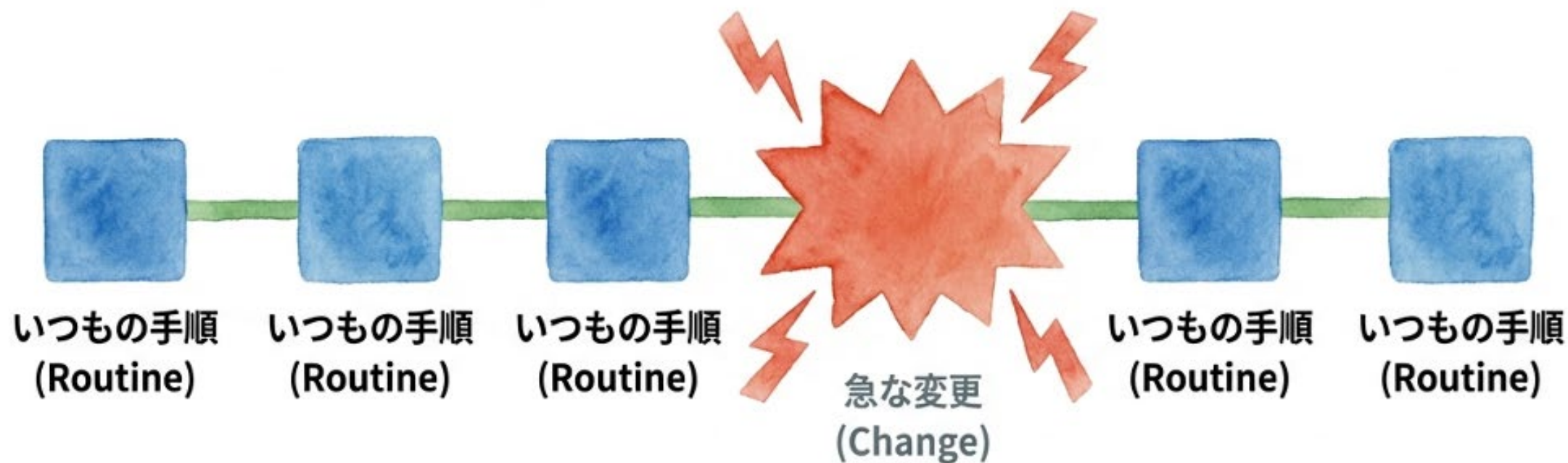


特性①：コミュニケーションの「ズレ」



「空気を読む」「暗黙の了解」が苦手です。言葉を文字通りに受け取ります。冗談や皮肉、お世辞が伝わりにくいことがあります。キャッチボールで例えるなら、「剛速球（ストレート）」を投げるタイプ。変化球（遠回しな表現）を受け取るのが苦手です。

特性②：強い「こだわり」は安心のため



特定の興味・手順・ルールに強くこだわります。

変化に対する不安が強いため、いつも通り（ルーティン）であることに安心感を覚えます。

急な予定変更や、マニュアルにない対応でパニックになることがあります（フリーズする）。

特性③：見えない苦しみ「感覚過敏」



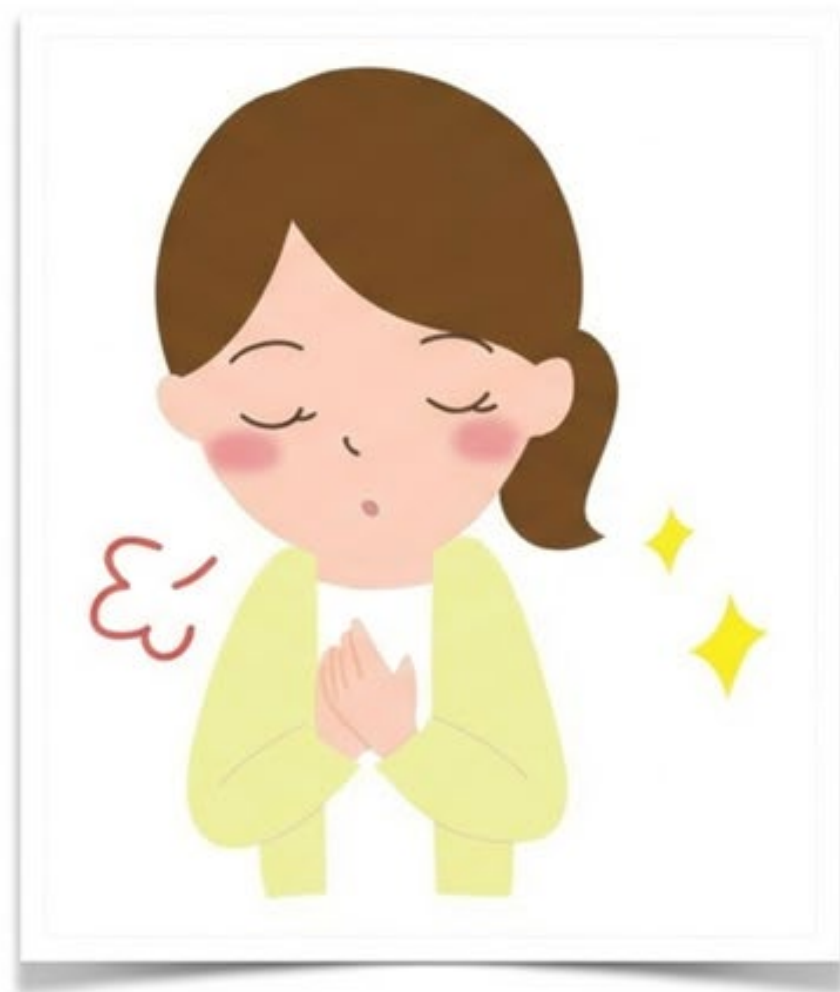
五感（視覚・聴覚・触覚など）が
人一倍敏感です。

- 🔊 聴覚：蛍光灯の音やざわめきが「騒音」のように聞こえる。
- ☀️ 視覚：PCの画面や照明が「突き刺さる」ように眩しい。
- 触覚：服のタグや特定の素材が痛くて着られない。

支援の基本姿勢

「~~できない~~」のではなく
「**難しい**」と理解する

あいまいな表現は避け、
具体的に伝える
無理な適応を求めず、
本人が安心できる環境を整える



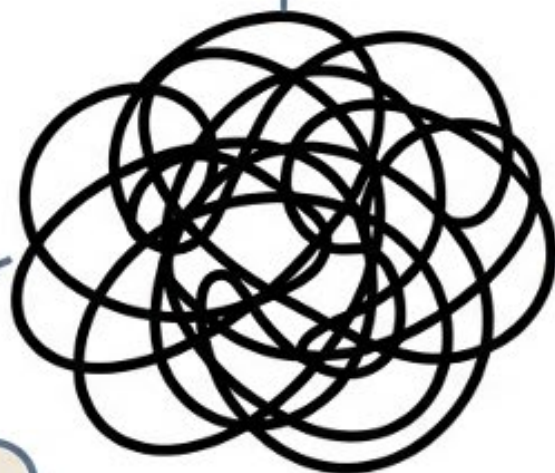


I・Sさんの特性

- 昭和56年生まれ
- 男性
- 養護学校高等部卒業
- 知的障害
- 自閉スペクトラム症のある方

支援を見直す前の課題

予定が分からないことへの強い不安



周囲が騒がしいと耳を塞いで不安定な様子になる

音による合図がストレスに

支援の転換点

The Old Way



聴覚情報（音）

音よりも
「目で見て分かる」
支援へ

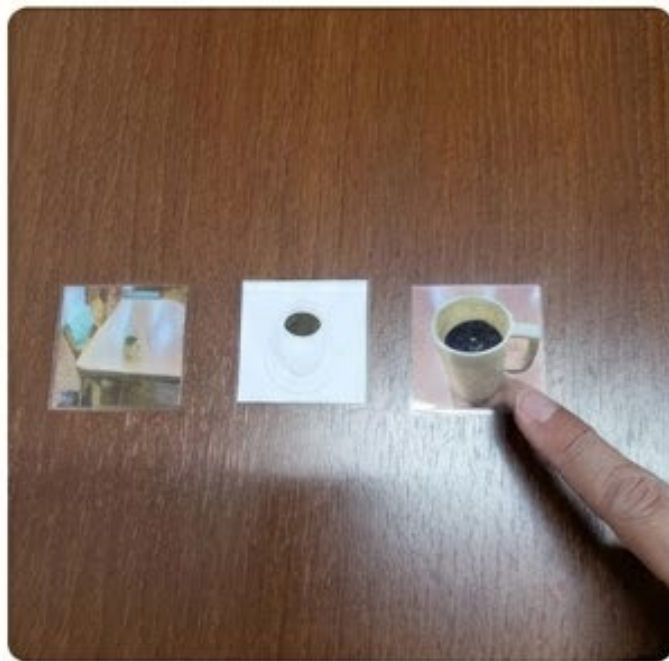
The New Way



視覚情報（目）

ご本人に合った伝え方を探す

アセスメント：情報収集



- イラストや写真の理解を確認
- 文字との組み合わせを検討

月間カレンダーの作成



1 January
2026

さんの
カレンダー

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
28	29	30	31	1 祝日 	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12 祝日 	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

カレンダーは31日の10時に交換します

先の予定を“見える化”
イラスト+文字

月間カレンダーの作成



外出時の手順書

11月 05日 (水曜日) カラオケ外出	
利用者さん：	
職員：	
 9 : 45	 車
 10 : 00	 ラウンドワン
 10 : 15	 カラオケ
 12 : 45	 車に乗る
 1 : 00	 ガスト白浜店
 1 : 15	 昼食
 2 : 00	 車
 2 : 15	 施設

10月 29日 (水曜日) 歯科	
利用者さん：	
職員：	
 9 : 45	 車
 10 : 00	 歯科
 10 : 15	 診察
 10 : 45	 車
 11 : 00	 施設

支援による変化と効果

1



興奮の減少

2



移動拒否の減少

3



外出を楽しみにする
発言が増えた

生活面の支援：衣類整理



- 季節に合った衣類選び
- イラスト付きボックスで自己管理

地域の皆様へ伝えたいこと

ASDは「できない」のではなく

「分かりにくさ」があるだけ


配慮や支援があれば、その人らしく輝ける

今後の展望

本人らしく暮らすために

これからの国の方針

ご清聴ありがとうございました。



質疑 · 応答